

「CSV形式」のファイル作成手順について

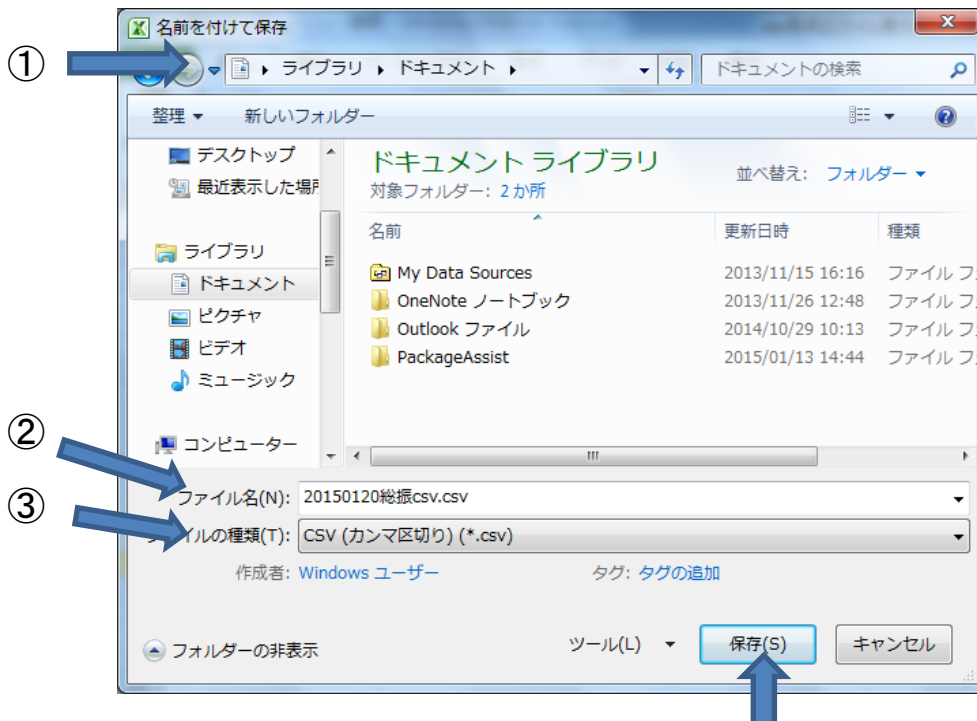
総合振込、給与振込、口座振替等の手続きを「CSV形式」のファイルで作成のうえ送信することができます。

表計算ソフトでの作成手順は以下の通りです。

1. CSV形式のデータについて

CSV形式のファイルは、表計算ソフトで操作のうえ出力できます。

- (1) 後述の「2. レコードの構成」に沿って、CSV形式のもととなるデータを表計算ソフトで開きます。
- (2) 表計算ソフトで「ファイル(F)」→「名前を付けて保存」の順で、以下の画面を開き、CSV形式でファイルを出力します。



- ① 保存先を決定。
- ② ファイル名を入力。
- ③ CSV(カンマ区切り)に変更。
- ④ 「保存」をクリック。

2. レコードの構成

CSV形式のファイルは4種類のレコードで構成されています。表計算ソフトで作成し、元のデータとして任意のファイル名で保存します。

	A	B	C	D	E			
①ヘッダーレコード	1	依頼人の情報						
②データレコード	2							
	3		振込先等の情報					
	n-2							
③トレーラレコード	n-1	合計件数、合計金額						
④エンドレコード	n	レコードの終了						

■ 作成したCSV形式のファイルをビジネスWebの「ファイル受付」画面で選択し、データの確定をします。そして、承認者が「承認操作」を行うことで、振込手続き等が完了します。

3. 表計算ソフトの入力例

表計算ソフトで作成する振込データの主な入力内容は以下の通りです。
ファイルフォーマットは次ページをご参照ください。

種類に応じて
11(給与)、12(賞与)、
21(総合振込)のいずれ
か

依頼人コード、依頼人名、指定日

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	1	21	0	6026666	カミナト	331	562	ミナト	11	ホンテン	1	12345	
2	2	562	ミナト	31	オオサカ		1	123456	ミナト	55000			
3	2	9	ミツイスミモ	410	サンミヤ		2	234567	ユコウヘ	17000		300001	55
n-3	2	562	ミナト	15	ヒヨウゴ		1	11111	イユメ	70000		300005	66
n-2	2	154	ミエ	101	ホンテン		1	22222	ミシロウ	10000		300007	67
n-1	8	20	888000										
n	9												

レコード種類
1(ヘッダーレコード)
2(データレコード)
8(トレーラレコード)
9(エンドレコード)

振込先銀行情報

振込先口座、受取人名、振込金額

合計件数、金額

4. レコードフォーマット

(1) 振込

①ヘッダレコード

項番	セル	項目名	最大桁数 (注1)	内容等	入力値(例)
1	A1	データ区分	N(1)	1:ヘッダレコード	1
2	B1	種別コード	N(2)	11:給与振込 12:賞与振込 21:総合振込	21
3	C1	コード区分	N(1)	0:JIS	0
4	D1	依頼人コード	N(10)	銀行が指定する番号	6026666
5	E1	依頼人名	C(40)	振込依頼人名	カミナ
6	F1	取組日	N(4)	振込指定日(MMDD)	331
7	G1	仕向銀行番号	N(4)	0562:みなと銀行	562
8	H1	仕向銀行名	C(15)	当行	ミナト
9	I1	仕向支店番号	N(3)	支払口座の支店番号	11
10	J1	仕向支店名	C(15)	支払口座の支店名	ホンテン
11	K1	預金種目	N(1)	支払口座の科目 1:普通預金 2:当座預金	1
12	L1	口座番号	N(7)	支払口座番号	1234567

(注1) 最大桁数: Nは半角数字、Cは半角数字及び半角カタカナ。

() 括弧内の数字は最大桁数を表す。

②データレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	2:データレコード	2
2	B列	被仕向銀行番号	N(4)	振込先金融機関コード	562
3	C列	被仕向銀行名	C(15)	振込先金融機関名	ミナト
4	D列	被仕向支店番号	N(3)	振込先支店番号	31
5	E列	被仕向支店名	C(15)	振込先支店名	オオサカ
6	F列	手形交換所番号	N(4)	(未使用)	
7	G列	預金種目	N(1)	振込先口座の科目 1:普通預金 2:当座預金	1
8	H列	口座番号	N(7)	振込先の口座番号	123456
9	I列	受取人名	C(30)	受取人名	ミナト 太郎
10	J列	振込金額	N(10)	ご依頼金額	55000 (カンマは入力不要)
11	K列	新規コード	N(1)	(未使用)	
12	L列	顧客コード1	C(10)	依頼人が定めた受取人識別のための顧客コード情報	1234567890
13	M列	顧客コード2	C(10)	(項番15の識別表示欄に「Y」以外を付与した場合に設定)	0987654321

12		EDI情報	C(20)	依頼人から受取人に対して通知するEDI情報 (項番15の識別表示欄に「Y」を付与した場合に設定)	12345678901234567890 (注2)
----	--	-------	-------	---	------------------------------

14	N列	振込区分	N(1)	(未使用)	
15	O列	識別表示	C(1)	Y:EDI情報の使用 スペース:顧客コードとして使用 または未使用	(注2)

(注2) 項番15にYを入力した場合、項番12にEDI情報の入力がないとエラーとなりますのでご注意ください。

③トレーラレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	8:トレーラレコード	8
2	B列	合計件数	N(6)	振込件数の合計	20
3	C列	合計金額	N(12)	振込金額の合計	888000 (カンマは入力不要)

④エンドレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	9:エンドレコード	9

(2) 口座振替

①ヘッダレコード

項番	セル	項目名	最大桁数 (注1)	内容等	入力値(例)
1	A1	データ区分	N(1)	1:ヘッダレコード	1
2	B1	種別コード	N(2)	91:預金口座振替	91
3	C1	コード区分	N(1)	0:JIS	0
4	D1	依頼人コード	N(10)	銀行が指定する番号	6026666
5	E1	依頼人名	C(40)	依頼人名	カミナ
6	F1	取組日	N(4)	引落指定日(MMDD)	331
7	G1	取引銀行番号	N(4)	0562:みなと銀行	562
8	H1	取引銀行名	C(15)	当行	ミナ
9	I1	取引支店番号	N(3)	入金口座の支店番号	11
10	J1	取引支店名	C(15)	入金口座の支店名	ホソケン
11	K1	預金種目	N(1)	入金口座の科目 1:普通預金 2:当座預金	1
12	L1	口座番号	N(7)	入金口座の口座番号	1234567

(注1) 最大桁数: Nは半角数字、Cは半角数字及び半角カタカナ。

() 括弧内の数字は最大桁数を表す。

②データレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	2:データレコード	2
2	B列	引落銀行番号	N(4)	請求先金融機関コード	562
3	C列	引落銀行名	C(15)	請求先金融機関名(カナ)	ミナ
4	D列	引落支店番号	N(3)	請求先支店番号	31
5	E列	引落支店名	C(15)	請求先支店名	オオサカ
6	F列	ダミー	C(4)	(未使用)	
7	G列	預金種目	N(1)	請求先口座の科目 1:普通預金 2:当座預金	1
8	H列	口座番号	N(7)	請求先の口座番号	123456
9	I列	預金者名	C(30)	預金者のカナ名称	ミナ タロウ
10	J列	引落金額	N(10)	引落金額	55000 (カンマは入力不要)
11	K列	新規コード	N(1)	0:その他 1:第1回引落分 2:変更分	0
12	L列	顧客番号	N(20)または C(20)	依頼人が指定する顧客番号	12345678901234567890
13	M列	振替結果コード	N(1)	(未使用)	

③トレーラレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	8:トレーラレコード	8
2	B列	合計件数	N(6)	引落件数の合計	20
3	C列	合計金額	N(12)	引落金額の合計	888000 (カンマは入力不要)

④エンドレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	9:エンドレコード	9

(3) 代金回収サービス

①ヘッダレコード

項番	セル	項目名	最大桁数 (注1)	内容等	入力値(例)
1	A1	データ区分	N(1)	1:ヘッダレコード	1
2	B1	種別コード	N(2)	91:口座振替(代金回収)	91
3	C1	コード区分	N(1)	0:JIS	0
4	D1	依頼人コード	N(10)	みなとリスが指定する番号	055555
5	E1	依頼人名	C(40)	依頼人名	カミナ
6	F1	取組日	N(4)	引落指定日(MMDD)	331
7	G1	取引銀行番号	N(4)	0562:みなと銀行	562
8	H1	取引銀行名	C(15)	当行	ミナ
9	I1	取引支店番号	N(3)	入金口座の支店番号	11
10	J1	取引支店名	C(15)	入金口座の支店名	ホンテン
11	K1	預金種目	N(1)	入金口座の科目 1:普通預金 2:当座預金	1
12	L1	口座番号	N(7)	入金口座の口座番号	1234567

(注1) 最大桁数: Nは半角数字、Cは半角数字及び半角カタカナ。

() 括弧内の数字は最大桁数を表す。

②データレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	2:データレコード	2
2	B列	引落銀行番号	N(4)	請求先金融機関コード	0009 (注1)
3	C列	引落銀行名	C(15)	請求先金融機関名(カナ)	ミツイスミモ
4	D列	引落支店番号	N(3)	請求先支店番号	500
5	E列	引落支店名	C(15)	請求先支店名	コウベ
6	F列	ダミー	C(4)	(未使用)	
7	G列	預金種目	N(1)	請求先口座の科目 1:普通預金 2:当座預金	1
8	H列	口座番号	N(7)	請求先の口座番号	123456
9	I列	預金者名	C(30)	預金者のカナ名称	ミナ タロウ
10	J列	引落金額	N(10)	引落金額	55000 (カンマは入力不要)
11	K列	新規コード	N(1)	0:その他 1:第1回引落分 2:変更分	0
12	L列	顧客番号	N(20)または C(20)	依頼人が指定する顧客番号	00000005555500123456 (注2)
13	M列	振替結果コード	N(1)	(未使用)	

(注1) ゆうちょ銀行の場合の入力は以下の通り

- ・銀行コード: 9900
- ・銀行名: 不要
- ・支店番号: 記号の2桁目から4桁目までを設定。以下の下線部分
(例) 143301-12345671(この場合、支店コード433)
(記号) (番号)
- ・支店名: 不要
- ・科目: 1(通常貯金)
- ・口座番号: 通帳番号8桁のうち前から7桁を設定。以下の下線部分
(例) 143301-12345671(この場合、口座番号1234567)
(記号) (番号)

(注2) 代金回収の顧客番号は預金口座振替依頼書の「収納企業番号契約者番号」欄を設定

(計20桁、前6桁: 000000(必須)、中6桁: 収納企業番号、後8桁: 契約者番号)

※前6桁の000000を含め、20桁での入力が必要。前6桁の0がない場合、送信後の処理がエラーとなりますので、ご注意ください。

③トレーラレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	8:トレーラレコード	8
2	B列	合計件数	N(6)	引落件数の合計	20
3	C列	合計金額	N(12)	引落金額の合計	888000 (カンマは入力不要)

④エンドレコード

項番	セル	項目名	最大桁数	内容等	入力値(例)
1	A列	データ区分	N(1)	9:エンドレコード	9